

令和3年度小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

令和4年2月18日

法人名	社会福祉法人 桜友会
代表者	理事長 高井 昭裕
事業所名	ほほえみごこち田原
記入者	澤田 裕作

法人・事業所の 特徴	同一建物内にグループホームを併設しており、また近くで同法人による特別養護老人ホーム・ショートステイ・デイサービスセンター・ケアハウス・訪問介護事業所・居宅介護支援事業所・グループホーム・認知症対応型通所介護を併設しているので、ご本人の状態に応じた総合福祉サービスをご利用いただくことができます。小規模多機能型居宅介護では通い、泊り、訪問サービスを中心に組み合わせをし、継続した在宅サービスを受けていただけるよう支援いたします。3つのサービスを事業所を変えずに1つの事業所で受けられ、ご家族の負担や不安を解消しサービスの選択の自由度が高くなり、同じスタッフにて対応ができる為、信頼関係も築けます。
---------------	---

出席者 (書面配布者)	関市高齢福祉課：桑原 健様 地域包括支援センター：野倉 良子 事務長：廣瀬 真澄 民生委員：遠藤 充敏様 西田原西自治会長：西田原東自治会長：野田・平井自治会長 GH家族会会長：平田 健様 ほほえみごこち田原主任：澤田 裕作 小規模多機能居宅介護リーダー：門井 秀樹
----------------	---

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事前にミーティング・勉強会の資料を職員へ配付し、意見を考える時間を設ける。事前に配付することにより自分自身で学ぶこと考えることをしていく。	資料作成が間に合わず事前に配付することができなかった時があった。事前に資料を配付した際に意見を求めることがあるが、なかなか意見がでることがなかった。ミーティング・勉強会で考える時間を設け順番に意見を求めているが、自分の意見が言えなかったり、同じ意見でも声に出して言えることが少なかった。	利用者の担当制にして担当職員が責任を持って担当利用者に関することを行ってはどうか。チェックリストを作り記入した内容を文章化する訓練をしてはどうか。職員全員が同じことを同じようにできるようにする必要がある。	利用者の担当を決め、カンファレンスなどで担当職員が司会進行を行っていく。会議の中で出た意見等に関し、目で確認が取れるように、記録を残すようにする。些細なことでもミーティング帳を活用し、自分の意見を記載し、日々の書くことのトレーニングをしていく。
B. 事業所の しつらえ・環境	特になし	環境面では、まず施設を見た感じはどうなのか、第一印象を大切にしたい。施設の顔である玄関のしつらえはどうなのか、係りを中心に取組み、季節ごとの壁画を作成していった。	玄関にクモの巣はないか、古い展示物、旧担当者が書かれた掲示物などはないか、今一度確認して欲しい。 避難訓練の反省から円滑に避難誘導を行う為、滑り台の設置を考えてはどうか。	各担当を中心とし、環境面のしつらえを整えていく。毎月のミーティングにて担当の方から報告するようにしていく。
C. 事業所と 地域のかかわり	全職員が地域活動・行事に参加できるように年間計画を練る。日頃から外へ出る機会を増やし地域資源の活用をしていく。	昨年同様コロナウイルス感染を懸念し、上半期行事毎への参加は行っていない。職員も地域行事に参加できるように周知していたが、地域行事も中止になり、下半期は全員は難しいが、少しずつ参加していけるように調整していく。	マスク等の対策をしたうえで、散歩をしてはどうか。地域の方とも交流ができる。近くの飲食店へ食事等に行っても良いのではないかな。	地域活動だけではなく、自施設行事への参加を促し、全職員が参加できるように調整を行う。
D. 地域に向いて本人の 暮らしを支える取組み	施設以外の在宅での生活スタイルを理解し、職員同士、情報の共有を図り、支援していく。	新規の方のアセスメントをケアマネだけでなく、現場の職員も同行し、利用していく中で、生活スタイル・環境等を確認し、施設でどのような援助が必要であるか見てもらうようにした。	Aの項目と発言内容が同じ。集めた情報を文章化することで、内容がわかりやすくなる。	新規利用の方のアセスメントをケアマネを中心となり、意見交換の場を設け、職員一人ひとりが情報共有できるようにする。

E. 運営推進会議を活かした取組み	ご家族・地域の方・他事業所からの意見を取りまとめ、会議の中で意見を求め、職員へ伝達・報告し、業務に反映していく。	今年度も4月・6月・8月と感染対策により、書面での開催となった。活動報告書など地域へ配付することで意見等を募った。高齢福祉課の方から意見を頂き、ミーティング・申し送りなどで職員へ伝達、意見交換をした。	自治会長から意見を求めている。開催時間を配慮し、出席していただきやすいように調整する必要がある。	運営推進会議での決定事項などは、ミーティングにて伝達し、意見があれば会議で報告していく。
F. 事業所の防災・災害対策	防災だけではなく、感染対策にも十分配慮し、事業所内で具体的にミーティングで話し合いの場を設け、取り組んでいく。	随時、防災計画書の見直しを行い、災害時非常用物品、施設周囲の地域住民の非常食の必要数量の確保を行った。防災対策委員会、議事録での報告事項を部署内で委員会報告を行った。	水害時の避難、近隣住民の受入れ等、対策を検討する必要がある。	特になし